

働き方を変えつつ、生産性の維持・向上を目指す

企業データ	本社・拠点	滋賀県長浜市細江町1197-4
	業種	電気用陶磁器製造業 / その他の電気機械器具製造業
	従業員数	従業員 : 90名 (男性 : 77名 女性 : 13名)
	資本金	2,000万円
	事業概要	高融点金属製品の研磨・マシニング加工 / 各種機械装置用精密部品の製造・販売

休暇の取得や
残業時間の削減で
働きやすさの改善に
繋がりました！



設備投資実施のチャンス

新型コロナウイルス感染症対策として、従業員が密集しないよう、配置も考慮した効果的な設備投資を実施しました。コロナ禍以前から、極力無人で生産を行える体制・夜間も生産できる体制に向けて検討を進めていたこともあり、マシニング

センター7台、研磨機3台、総計1億7,000万円の設備投資を行いました。

その結果、密集を防いで感染防止対策となったほか、10%以上の採算性の向上にもつながりました。

壁 若年層の成長の糧となる成功体験を共有

残業時間を減らすことで、特に若年層にとって知識・経験を積むチャンスが低下し、個々人の成長の妨げにならないかが課題となった。

⇒定期的に行っている朝礼にて、仕事の質をいかに上げるかについて他者の成功体験の共有などを通して社員同士で話し合っている。

勤務時間改善への取組

その他に新しい働き方として、従業員の健康管理を図ることを目的に、年間5日、全従業員一斉に有給休暇を取得することを義務付けました。さらに、無駄な残業をしないよう、上長から率先して行動するようにしました。

これまでは有給休暇の取得促進や、残業抑制に向けた従業員向けのアナウンスは現在よりも少なかったため、休暇が取りにくく、残業時間も多い状況にありました。さらに、コロナ禍において、密を避けるといった制約が設けられると、生産性を落とさないために、これまで以上に残業を行う現状にありました。

そこでまず、有給休暇に関しては、全従業員が一斉に取得するという方針を設けました。あえて一斉取得とすることで、周囲の目を気にすることや業務の進捗等を理由に休暇を取得出来ない状況を排除しました。また、残業抑制については、セクションごとで上長が主体的に動くよう促し、時間がかかる業務の原因追及、手作業の業務の機械

化などによって、帰りにくい環境を一掃しました。

新しい働き方が進んでいく一方で、これにより生じる生産性の低下をいかに回避するかが課題となりました。そこで従業員が参加する朝礼にて、仕事の質をいかに上げるかを話題として取り上げ、他者の成功体験を共有するなど工夫をしました。

その結果、少しずつ従業員の間でも効率的な働き方が浸透し始め、現在では従業員全員が効率化を意識し、行動できるようになりました。さらに、外部機関を利用して年に1度行っている「従業員向けのストレスチェック」においても、以前より改善の傾向が見られ、従業員の精神衛生や働きやすさの面でも効果を出すことができました。

今後も継続して生産性の向上を

今後は、現在の新しい働き方を継続しながら、より一層の生産性向上を目指して、個々人の仕事の質・スキルをいかに早く上げられるかを課題とし、改善提案活動の活性化などを通じて従業員一人一人の意識付けを深めていく方針です。

新しい働き方で従業員の働きやすさがUP

～ 新しい働き方を導入したことで、従業員にとってもプラスの効果がありました ～

- ◆ワークライフバランスが充実し、自身の健康と向き合うことでダイエットに成功した、などの前向きな言葉が聞かれるようになりました！
- ◆これまで年間数名程度離職者がいましたが、直近一年間の離職者が0名になりました！

